

保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト 結果比較様式

※本チェックリストは、自らが意識をせずに「子どもを置き去りにした保育」や「保育者の都合で進める保育」を行っていないか保育者一人ひとりが自己点検するためのツールです。日々の保育の質の向上につなげることを目的としており、人事考課の要素として利用することを想定して作成したものではありません。

施設名 橘保育園

実施日 3 月 26 日

～～～1回目チェック結果～～～

↓『1回目結果記録シート』の内容が表示されます↓

実施年度	7	年度	
実施回数	1	回目	
実施日	9	月	16・19 日

【集計表】

	(1) 子ども一人ひとりの人格を尊重しないかかわり	(2) 物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉がけ	(3) 罰を与える・乱暴なかかわり	(4) 一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかかわり	(5) 差別的なかかわり
「良いかかわり」にチェックした数平均	9.6 個 / 10 個	4.5 個 / 5 個	4.9 個 / 5 個	4.0 個 / 4 個	4.9 個 / 5 個
「良いかかわり」にチェックした割合	96%	90%	98%	100%	98%

～～～2回目チェック結果～～～

↓『2回目結果記録シート』の内容が表示されます↓

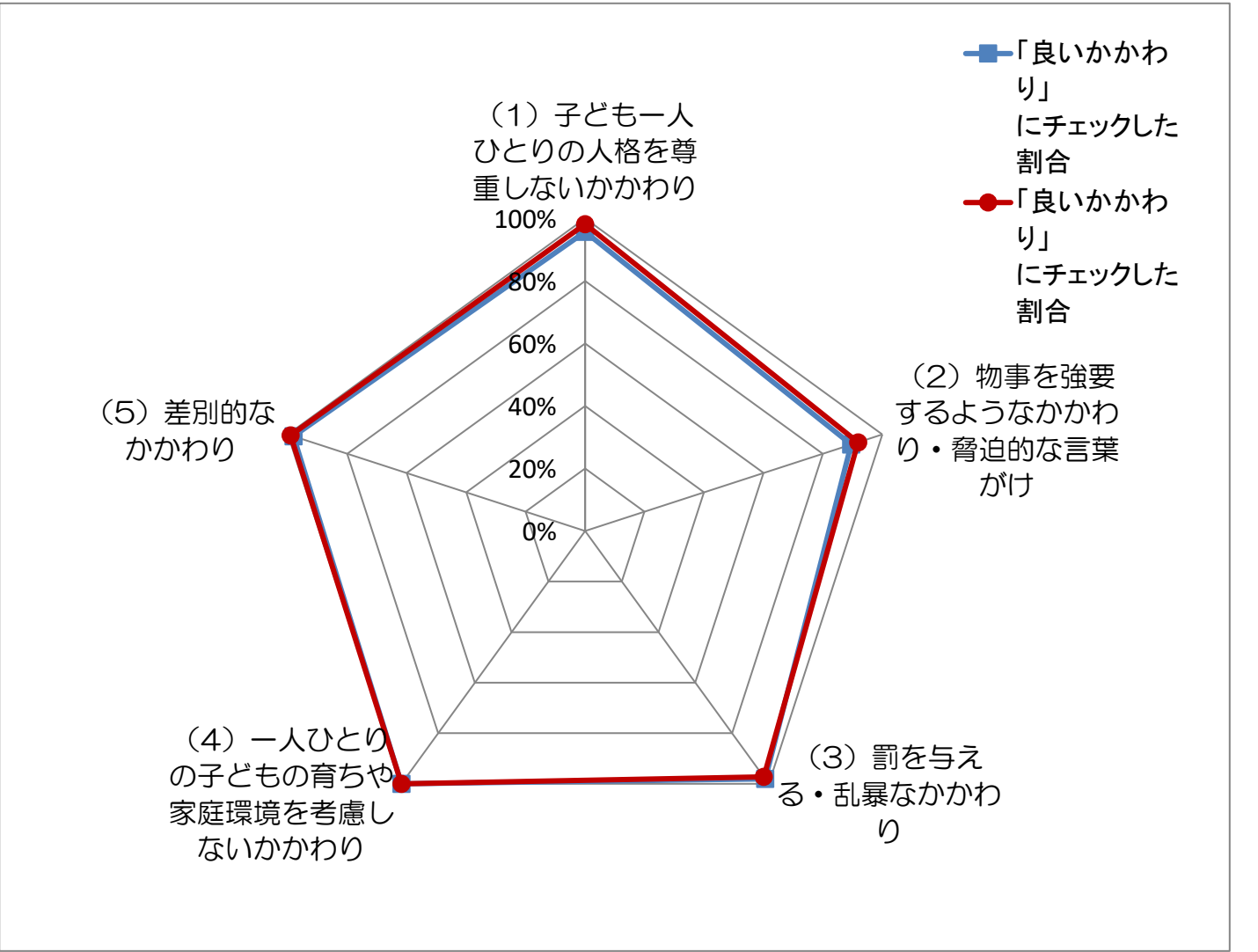
実施年度	7	年度	
実施回数	2	回目	
実施日	3	月	14 日

【集計表】

	(1) 子ども一人ひとりの人格を尊重しないかかわり	(2) 物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉がけ	(3) 罰を与える・乱暴なかかわり	(4) 一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかかわり	(5) 差別的なかかわり
「良いかかわり」にチェックした数平均	9.8 個 / 10 個	4.6 個 / 5 個	4.9 個 / 5 個	4.0 個 / 4 個	5.0 個 / 5 個
「良いかかわり」にチェックした割合	98%	92%	97%	100%	99%

レーダーチャート ※輪の大きさが大きいほど、「良いかかわり」が達成できています。

1回目の結果が青い輪、2回目の結果が赤い輪で表示されます。



◎1回目と2回目の結果を比較して、施設の保育がどのように変わったと感じますか。また、子どもの人権を尊重した保育をいっそう行うために、今後施設としてどのようなことに取り組むことが必要だと考えますか。

1年に2回、人権セルフチェックリストを使用し、“我が保育について考える機会”を設けている。

保育者は日々、精一杯子どもと向き合っているが、あらためて保育を振り返ることで“子ども主体”ではなく“保育者主体”になっているのではないかと考える時間を持つことができる。全スタッフで勉強しあうことで、子ども1人ひとりを尊重する保育を繰り返し語り合う時間を大事にしていく。共通認識を持つことが大事なことである。

保育目標の“感謝”“和合”“奉仕”を大事にする職員勉強会をおこなっていく。子どもを尊重した保育が行えるよう日々の積み重ねを大事にしていきたい。